

JAL工場見学「SKY MUSEUM」

空の仕事とJALの歴史に触れ、本物の飛行機を間近で見ることができる施設。ミュージアムと飛行機格納庫の見学ができます。



～JAL連携事業～

JAL工場見学「SKY MUSEUM」 大田区南六郷創業支援施設「六郷BASE」

JALの飛行機で大田区に行き見学して来ました!

千畑小6年 鈴木 和佳奈 さん

「飛行機ってこんなに魅力が詰まっていた乗り物だったんだなと感じました。お客さんが安全に快適に過ごせるように沢山の工夫がされているからです。以前より飛行機に興味を持ったので、もっと知りたくなりました」

六郷小6年 菅原 三暉 さん

「元パイロットの方が『機械と人間の共存が必要である』と教えてくれました。誤作動があるかもしれない機械だけに頼り過ぎてはいけないし、人間も自分を過信してはいけないということを知りました。私も将来、仕事の楽しさにつながる、やりがいのある仕事に就きたいです」

六郷小6年 高橋 侑利 さん

「JAL工場では普段見られない取り外されたエンジンやコックピットのふかふかの椅子が見られました。六郷BASEでは起業した社長さんに会えて自分も目指したいと思いました」

千畑小6年 森川 陽夏 さん

「JAL工場の格納庫の係の人の話では、飛行機にも車と同じでナンバーがあることや飛行機の翼に燃料が入っているという普段知らないような内容が沢山あり、びっくりしました」

仙南小6年 藤谷 怜那 さん

「飛行機が離着陸する時は風に向かうため風の向きによって使用する滑走路が違ふことが印象に残りました。六郷BASEの3Dプリンターやレーザーカッターを近くで見て、実際に作られた物を触ったりできて嬉しかったです」

仙南小6年 小田長 裕太 さん

「JAL工場では目の前で飛行機を見て想像以上の大きさにびっくりしました。六郷BASEは、新たな価値を生み出すことに意欲的な方々の挑戦を応援しているそうです。試作室の3Dプリンターでは立体物を作ることができて面白いと思いました」

町と連携協力協定を結んでいる日本航空株式会社「JAL SKY MUSEUM」(東京都大田区)と大田区の創業支援施設「六郷BASE」の見学が7月28日から29日にかけて行われ、町内各小学校の5、6年生とその保護者10組20名が参加しました。この事業は、職業観について親子で話し合うきっかけ作り、キャリア教育の一環とすることを目指して実施しています。初めて訪れる2つの施設でこんなことを感じたのか、参加児童を代表して6名の方の感想文からその一部をご紹介します。

大田区南六郷 創業支援施設「六郷BASE」

新規創業や中小企業者の新分野進出を支援する施設。3Dプリンター等を完備した試作室、ワーキングスペースやシェアオフィスなどが利用できます。



タイ王国マヒドン大学医学部 ラマティボディ病院の方々が来町されました

高齢者施設の設定や設備、経営などを学ぶため、タイ王国マヒドン大学医学部ラマティボディ病院「シルバーヘルスサービス講座」のメンバー16名が、8月1日に町内の高齢者施設を視察されました。

当日は特別養護老人ホーム「ロートピア仙南」や、リハビリデイサービス「コンパスウォークみさと」など6施設を訪問し、各施設で活発な質疑応答が行われました。視察された方からは「さまざまな種類の施設を訪問したが、タイにはない機械や設備ばかりだった。タイで高齢者施設を設立する際は今回の経験を生かしたい」といった声が聞かれました。



選択

COLUMN
WINDS

コラム

風

美郷町長
松田知己

今月1日を以って満60歳。つまり還暦です。ひと山超えた感がありますが、諸々の状況に大きな変化はなく、何となく、節目らしい変化を求めたい気分もあります。そこで、今月号の本欄「風」は、普段とは違う「である」調の常体の文章に変えてみます。

私は昔から「牛丼」が好きで、たまに出張に行った際の昼食にも牛丼を選択することが多い。食事提供が速いからではなく、うまいから選択しているのだが、大体は同じ大手チェーン店に足を運ぶ。3大手を食べ比べたところ、そこが一番うまいと思ったからだが、まずは牛丼の味付けが良い。そして紅生姜もうまい。これが店の選

択理由である。きっと世の中のすべては一緒で、選択にはそれなりに理由がある。牛丼屋をどこにするかの話だけではない。

さて、美郷町は6月末時点で人口1万8千人を下回った。確実に減少が進んでいる。人口減少に歯止めを掛ける策として、これまでも生み育てやすい環境づくりや移住・定住の促進に努めてきたが、さらに歯止め策の強化が必要との判断に立ち、現在、2つのプロジェクトを進めている。ひとつが、周辺公共施設と連携効果を生みやすい旧六郷公民館跡地に整備したい子育て支援拠点施設。もうひとつが、現在の認定こども園、小・中学校にも遠からず、生活利便性の高い旧六郷幼稚園・保育園跡地に整備

したい住宅用地。ともに美郷町第3次総合計画に基づきプロジェクトである。

こういう展開で町は、子育て奮闘中の方をさらに支援していきたい。またご夫婦の「子供を授かりたい」という前向きな気持ちに繋がってほしい。そして、利便性の高い場所に居を構えやすくすることで、定住の促進に繋がっていきたくと考えている。事業完了までは多少の時間が必要だが、こうした町の取り組みと姿勢を特に若い世代には受け止めてもらい、美郷町が住むために「選択される町」となるよう、心の底から期待している。

常体の文章、いかがだったでしょうか。読みづらいとすれば、来月はまた敬体の文章に戻します。60は耳順う歳みじかですので。(笑)



▲夜市オープニングセレモニーであいさつをする松田町長